

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アスラポート・ダイニング
 コード番号 3069 URL <http://www.asraport-dining.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 檜垣 周作

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 齊藤 隆光

TEL 03-6459-3235

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,487	△5.7	70	△39.9	65	△40.3	34	△28.5
23年3月期第2四半期	3,697	△35.0	117	19.7	109	132.2	48	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 34百万円 (△29.1%) 23年3月期第2四半期 48百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	205.36	204.95
23年3月期第2四半期	296.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,535	746	28.2
23年3月期	2,608	691	25.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 715百万円 23年3月期 673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,116	△3.2	277	△15.0	260	△14.8	150	4.5	882.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	170,500 株	23年3月期	170,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	24 株	23年3月期	24 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	169,989 株	23年3月期2Q	164,976 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により厳しい状態にありましたが、サプライチェーンの回復とともに、企業の生産活動や個人消費には若干回復の動きが見られました。しかし一方で欧米の金融情勢や円高の進行などを背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、依然として根強い消費者の生活防衛意識、食中毒事故や放射性物質の影響による食の安心安全に対する懸念等により厳しい状況が続きました。

このような中で、当社グループは「外食フランチャイズチェーンのリーディングカンパニー」を目指すという目標を掲げ、引き続き「既存ブランドの強化」「M&Aによる規模拡大」「フランチャイズ運営ノウハウを活かしたフランチャイズ展開支援」「海外市場への進出」「自社開発商品、業務用食材等の外販事業」「効率的なグループ運営」の各課題に取り組んでまいりました。

ブランドごとの当第2四半期連結累計期間の概況及び取り組みは以下のとおりであります。

子会社である株式会社プライム・リンクが展開する「牛角」では、第1四半期に発生した他の焼肉チェーン及び当社管轄エリアでの食中毒の影響に加え、7月に表面化した放射性物質に汚染された稲わらの影響を受けた牛肉の問題により、売上高・客数ともに厳しい状況が続きました。衛生管理面については、「調達・加工・物流に関する安全衛生管理強化」「店舗における安全衛生強化」を掲げそれぞれの段階での管理を再度徹底強化しました。また放射性物質の問題では、発生を受けて一時的に国産牛肉の提供を休止しましたが、その後8月1日より国産牛肉における放射性物質の全頭検査を開始し、検査に合格したのもののみを出荷する体制を整えた上で提供再開に至っております。

「とりでん」では、「釜飯拡散プロジェクト」と題してSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用したオリジナル釜飯レシピ募集など複数のキャンペーンを行い、話題の拡散、ファンの獲得などの新たな取り組みを進めるとともに、店舗の立地、客層、曜日などに応じて食べ放題コース、昼の二毛作業態の導入など店舗ごとの施策をそれぞれ実施しました。

「おだいどこ」では、「東北の食と酒をみんなで」を合言葉に食で東北を応援するつながり「ハナサケ！ニッポン！」に賛同した「東北応援メニュー」を継続するとともに、「夏の特別宴会」企画を実施、節電により就業後時間に余裕ができた層へのお得なプラン提案で集客を図りました。

また、外販事業では家庭での料理に質の高い食材を提案することをコンセプトに通販サイト「感動キッチン」をオープンしました。外食のブランドだけにこだわらず、国内・世界の美味しい食材を紹介し、内食市場への足がかりを作りました。

同じく子会社である株式会社とり鉄の「とり鉄」では、会津地鶏などのブランド鶏のラインナップを強化する一方、「マッコリ」「焼酎ハイボール」など注目される旬のドリンクとそれに合う料理を提案するキャンペーンを実施し、話題の創出とメニューのバラエティ化をはかりました。

こうした結果、既存業態売上高前年同期比においては、「牛角」88.1%、「とりでん」104.3%、「おだいどこ」96.8%、「とり鉄」98.6%となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,487百万円（前年同四半期比5.7%減）、営業利益は70百万円（前年同四半期比39.9%減）、経常利益は65百万円（前年同四半期比40.3%減）、四半期純利益は34百万円（前年同四半期比28.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①店舗運営

株式会社プライム・リンクにおいては、「おだいどこ」1店舗を加盟企業様より譲り受け直営店とし、株式会社とり鉄では、「とり鉄」1店舗をオープン、また6店舗を加盟企業様より譲り受け直営店としました。この結果、当第2四半期における当社グループの直営店舗数は43店舗となり、店舗運営の売上高は1,368百万円（前年同四半期比5.7%減）となりました。

②フランチャイズ

株式会社プライム・リンクでは、「牛角」2店舗、また低価格の焼肉業態「ゴチニク」を1店舗オープンする傍ら2店舗を閉店しました。株式会社とり鉄では、「とり鉄」1店舗を閉店し、6店舗を直営としました。この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループのフランチャイズ店舗数は300店舗となりました。また、地震及び津波の被害により休業していた4店舗のうち、牛角 多賀城店（宮城県多賀城市）が7月に営業を再開しております。

また、一部ブランドフランチャイズ店舗向け食材の売上高を加えた結果、フランチャイズの売上高は1,854百万円（前年同四半期比4.9%減）となりました。

③その他

転貸における売上及び加盟企業向け販促物の売上等を中心に、売上高は264百万円（前年同四半期比10.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は2,535百万円となり、前連結会計年度末に比較し73百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少によるものであります。

負債合計は1,788百万円となり、前連結会計年度末と比べ128百万円減少いたしました。これは主に、社債の償還並びに借入金の返済によるものであります。

純資産については、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末と比べ54百万円増加し、746百万円となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	237,046	210,952
売掛金	570,509	557,393
商品	15,014	27,549
貯蔵品	8,841	8,687
その他	229,312	227,116
貸倒引当金	△41,947	△31,351
流動資産合計	1,018,778	1,000,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	272,717	264,170
その他(純額)	127,439	110,510
有形固定資産合計	400,157	374,680
無形固定資産		
のれん	288,762	282,892
その他	74,657	65,834
無形固定資産合計	363,419	348,726
投資その他の資産		
敷金及び保証金	717,513	714,215
その他	131,817	128,662
貸倒引当金	△22,926	△31,610
投資その他の資産合計	826,404	811,267
固定資産合計	1,589,981	1,534,674
資産合計	2,608,760	2,535,023
負債の部		
流動負債		
買掛金	348,244	377,522
短期借入金	60,000	49,600
未払法人税等	11,704	14,890
店舗閉鎖損失引当金	—	18,107
資産除去債務	—	8,615
その他	589,063	554,081
流動負債合計	1,009,012	1,022,817
固定負債		
社債	116,000	58,000
長期借入金	47,500	10,000
受入保証金	507,712	472,133
資産除去債務	78,740	81,115
その他	157,822	144,463

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
固定負債合計	907,774	765,712
負債合計	1,916,787	1,788,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	612,174	615,723
資本剰余金	570,471	574,020
利益剰余金	△507,222	△472,312
自己株式	△1,428	△1,428
株主資本合計	673,995	716,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63	△358
その他の包括利益累計額合計	△63	△358
新株予約権	18,040	30,848
純資産合計	691,972	746,492
負債純資産合計	2,608,760	2,535,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,697,142	3,487,584
売上原価	1,981,604	1,904,751
売上総利益	1,715,538	1,582,832
販売費及び一般管理費	1,597,663	1,511,967
営業利益	117,875	70,864
営業外収益		
受取利息	661	504
受取家賃	—	1,371
貸倒引当金戻入額	—	1,911
その他	5,537	3,141
営業外収益合計	6,198	6,928
営業外費用		
支払利息	9,525	7,968
その他	5,143	4,471
営業外費用合計	14,668	12,440
経常利益	109,404	65,353
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,548	—
受取契約違約金	—	7,940
特別利益合計	5,548	7,940
特別損失		
固定資産売却損	4,725	—
減損損失	—	7,487
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	18,107
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27,699	—
その他	5,605	—
特別損失合計	38,031	25,594
税金等調整前四半期純利益	76,922	47,698
法人税、住民税及び事業税	8,007	9,635
法人税等調整額	20,064	3,153
法人税等合計	28,071	12,788
少数株主損益調整前四半期純利益	48,851	34,909
少数株主利益	—	—
四半期純利益	48,851	34,909

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	48,851	34,909
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△54	△294
その他の包括利益合計	△54	△294
四半期包括利益	48,797	34,615
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,797	34,615
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。